

令和5年度 第2回 瑞浪市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

1. 日時 令和5年12月5日（火） 13時30分から14時50分まで
2. 場所 瑞浪市保健センター 3階 大会議室
3. 出席者：藤井委員長、山内副委員長、中尾委員、出村委員、西尾委員、
安藤委員、木股委員、小島委員、栗岡委員
欠席者：山口委員、水野委員、宮月委員、後藤委員、柴田委員
事務局：藤本民生部次長、子育て支援課 有賀、野田、兼松
ランドブレイン
傍聴者：なし
4. 報告事項
こども計画について
5. 議題
こども計画策定のためのアンケート調査（素案）について
6. 会議録（要旨）

事務局	皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、子育て支援課長の藤本と申します。よろしくお願ひいたします。会長は決まっておりますので、はじめに、会長よりあいさつをいただきたいと思ひます。一言よろしくお願ひいたします。
会長	皆さん改めましてこんにちは。12月に入ってさすがに急に寒くなってきたと思ひます。小中学校では寒くなってくると、子どもたちの体調管理に随分気を付けるようになってきます。学級閉鎖などあるのか心配だったので調べてみましたら、先週小学校で3学級、中学校で4学級でした。今週に入って、今まだ火曜日ですが、3学級が学級閉鎖している状態です。ただ学級閉鎖の状況を見てみると、市内全部の学校でまんべんなくなっているわけではなくて、特定の学校に今のところ偏っているようですので、ここで押さえていけばいいのかなと思ったりして心配しているところでもあります。さて今日の会議ですが、子ども家庭庁ができて「こども計画」というものを、これは努力義務になるわけですけども、各市の方で策定して行くということになりました。そのためには市内の実態を知らなければならないというわけです。そこでアンケート調査をしたいということで、そのアンケートの素案を今日皆様にご審議していただく、ご意見をいただくということが中心になる会議になるかと思ひます。忌憚のないご意見をいただいて、色んな立場の方がいらっしゃるので、その意見をいただいて事務局の方に投げかけていって、良いアンケート調査ができるといいなと思っております。どうぞご協力のほどよろしくお願ひいたします。以上です。
事務局	ありがとうございます。それでは本日の出席委員数の報告をさせていただきます。本日の出席者数は14名中9名出席という形になります。過半数の出席がありますので、瑞浪市子ども子育て会議条例第6条第2項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。それではまず資料の説明をさせていただきたいと思ひます。レジュメに沿って進めて参りますが、1番のレジュメは郵送済みのものをお持ちでしょうか。それから資料

1、これが説明になります。資料2という形でアンケートの方になりますがこちらの方郵送済みのもの、それから本日お配りしました配席表となります。お手元に皆さんございますか。

それでは会議の方を進めさせていただきます。

瑞浪市子ども子育て会議条例第6条により、会長が議長を務めるとなっておりますので、議事の進行は会長にお願いしたいと思っております。よろしくお願ひします。

会長

はい。では報告事項が1番最初です。報告事項に入る前に事務局に確認をします。この会議は公開で行う会議になっておりますけれども、今回傍聴される方はいらっしゃいますか。

事務局

はい、今回はおりませんので、傍聴者は0人ということになります。よろしくお願ひします。

会長

わかりました。

それでは早速ですけれども、報告事項であるこども計画について事務局から説明をお願いします。

事務局

－資料1に基づいて事務局より説明－

会長

はい。ではただ今の事務局の説明について、ご質問あるいはご意見等ありましたらお願いいたします。

委員

子どもというのは何歳から何歳までを対象というふうに考えればいいのでしょうか。

事務局

はい、ありがとうございます。子どもの定義がちょっと不明確になっておまして、20歳までという線引きがあるとわかりやすいのですけれども、成熟した大人になる前の方までを子どもと国の方で定義づけておまして、ですのでこちらとしては20歳ぐらいまでのところをおよそ子どもとしているのかなというところで捉えております。ありがとうございます。

会長

よろしいでしょうか。

では、子どもはだいたい0歳から20歳までぐらいと考えていただきたいと思います。それでは議題に移りたいと思ひます。

こども計画策定のためのアンケート調査（素案）について、です。沢山ありますけれども、事務局から説明をお願いします。

事務局

こども計画の策定につきましては市から委託をさせていただいており、株式会社ランドブレインさんの支援を受けながら計画策定を進めております。今回のアンケートの素案につきましては株式会社ランドブレインさんの方からその概要について説明させていただきますので、よろしくお願ひ致します。

－資料2に基づいて事務局より説明－

会長

ありがとうございました。

只今説明がありましたが、アンケート調査が2つに分かれます。未就学の保護者と小学生の保護者がそれぞれ1つで、もう1つが中学生と高校生です。まず最初に未就学の保護者と小学生の保護者に対するアンケート調査について何かご意見やご質問はありませんか。

資料の1番最初にあるこの部分がハガキとしていくということですね。

事務局	はい、そのハガキをお送りして、右下に黒い四角い枠があるかと思うのですが、そこに2次元コード、QRコードを配置して、読み込んでいただくように想定しています。あとURLも記載しますので、パソコン等で入力もできるような形をとるように考えています。
会長	調査内容に「宛名のお子さんの」と書いてありますが、お子さんの名前で行くのですか。
事務局	はい、そうですね。
会長	小学校までは子どもの名前で行くんですね。
事務局	はい、その通りになります。お子様のお名前で行きます。よくあるパターンは、「山田太郎保護者様」みたいな形で出す場合もありますので、その送り方も今検討しておりますけれども、お子様の名前が入った状態でハガキは送らせていただく予定をしております。
会長	他にどうでしょうか。
委員	ちょっと思ったのが、私は未就学児の保護者なのですが、7ページの就労状況のところ、この付問7の場合、就労希望はあるのですが病気で仕事ができないということが選択できる記述があるといいかなと思いました。
事務局	ありがとうございます。わかりました。意向だけといいますか、したくない気持ちだけしか聞いてなので、できないという状況、今のご病気とか身体的なことでしたいけどできないという選択肢も入れるようにします。
会長	他にどうでしょうか。
委員	ありがとうございます。よろしくお願ひします。こちらのこども計画のアンケート調査ということで、事前に送付していただきましたので中を見させてもらったのですが、かなり細かい内容で、こちらを実施することによって瑞浪市の保護者の方の状況も把握できると思いますし、またこういったところを今後の少子化対策でしっかりと実施していけるといいかなと考えております。1点ご確認なのですが、資料2の表紙、こちらの方をハガキで送るというところで、実際に在園していないご家庭、在園しているご家庭にもこちらのハガキがお送りされるというような形ですか。
事務局	はい。
委員	ありがとうございます。先ほど冒頭の方でありましたが、幼稚園が利用しているICTも利用しながらということだったので、52まで設問があるということで、こちらをウェブ上で回答するというような形で、特にその「CoDMON」のアンケート機能に載せるというわけではなくて、こちらのハガキにこのQRコードを載せたものを保護者の方に送付して、ということではよろしかったでしょうか。多分これは「CoDMON」の方に載せた場合かなりのボリュームで大変だなと感じます。こちらで配信の方はできるのかなとは思っているのですが、せっかくウェブがあるということですのでそれでよろしくお願ひします。
事務局	すみません。先ほどの説明の中で説明しきれておらず申し訳ありません。そこの説明をさせていただきます。公立園につきましては「CoDMON」というアプリで保護者の方にこのあたりの文面を送らせていただいて、URLからウェブ上の回答フォームの方に飛んでいただく形を想定しております。私立園につきましては、全ての保護者の

方にハガキのタイプで送らせていただくのですが、愛保育園さんでいうと「CoDMON」を導入してみえるので、その辺はご選択いただける部分かなと思っております。いずれにしても、このような形式でウェブ上、グーグルフォームというようなウェブの回答フォームを使いまして実施することを想定しておりますので、またご協力をよろしく願いいたします。

委員
会長
委員

ありがとうございます。

どうでしょうか。

先日私も市のアンケート調査が来まして回答したのですが、本当に QR コードはやりやすいなというのをすごく感じて、記入形式よりはお忙しい保護者様にとってはいいことだと思います。質問ですが、この未就学児の保護者さんというのは未満児さんは入らないわけですか。現在まだ園に行っていないお子さんは対象外ということでしょうか。

事務局

そちらの方は説明不足で申し訳ありませんでした。園に通ってみえるご家庭の方は園を介して届けさせていただきまして、園に通って見えないご家庭につきましては、直接お家の方に送るような形式を取らせていただく予定をしております。ですので、未満児のお子さん、園に通って見えないお子さんの保護者に対しても届くような形で対応したいと考えております。よろしく願いいたします。

会長
委員

かなり設問が大量ですね。途中でやめた、とまらないといいですね。

よろしく願いします。

アンケートは本当に難しいなあと私自身も感じています。いろいろ難しいとは思いますが、今回中学生、高校生の意見も拾って頂けるというところがすごく大きいなと思いますし、個人的には小学生の意見も、ウェブアンケートという形は難しいと思うのですが、ぜひ声を拾っていただきたいと思いました。

2点質問させていただきたいのですが、まず1点目ですが、質問内容は何かもとがあつてとか国からの水準とかそういったものをもとにとかそういったことでしょうか。

事務局

はい。今までのこども計画の策定の部分につきましては国からある程度のひな形がありまして、参考にさせていただいております。今回の子どもの貧困対策計画や子ども・若者計画の方は他市の計画を見たり、どういった計画を作るかということをイメージしながらランドブレインさんの方でアンケート項目を検討していただいた次第となっております。不足があればお願いします。

事務局

貧困対策とか計画作りに関しまして、国の方で指針や参考資料が出ておりますのでアンケートフォームとかもそれに沿うような形で設問を設定しています。ただ完全1致ではなく、当然市の方に合うような形で言いまわしや内容の修正は行っております。

委員

ありがとうございました。そうしますと、瑞浪市がどれくらいの位置かと、ある程度は他市と比べたりされたということでしょうか。

事務局

そうですね、実際のところどの市町さんがどこまでそれを採用しているのかというのは整理されていない状況でございます。ですので、各市町さんのものを1つ1つ拾っていけばまあ不可能ではないという状況なのですが、なかなか統計的に出ていないので、何十、何百というものをずっと調べてとなるとちょっと時間的に厳しいといっ

委員	<p>たところがあります。</p> <p>他と比べてどうということもないですが、だいたいどのくらいの位置に瑞浪市がいて、課題がどこだということが見えてくるのかなと思ったのでお聞きしたという感じですか。もう1点が、先ほどおっしゃられたように回答率の見込みはどれくらいの感じでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。今回のウェブ回答という形にしておりますので、だいたい30%を見込んでいます。弊社（業務受託者・ランドブレイン）の経験からいきますと、通常の紙の調査票を配布して回収するいわゆる郵送配布・郵送回収だと大体4割から5割弱、ウェブだけの場合はだいたい3割から4割弱ということで、10%ぐらい落ちるような形ですので、今回も30%は想定しております。実際私も瑞浪市さんの別件の事業で先日高校生向けに回答依頼ハガキを送付してウェブ回答をやっていまして、やっぱり33%ぐらいの回答でございました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。やはり回答率がそれぐらいだと、先ほどもちょっと出た、例えば貧困家庭がどれだけ回答するかと思った時に、その割合からすると落ちることが予想されると思います。ですので、瑞浪市民のとにかく多くの答えを取り入れたいという質問と、あとはもう少し限定したところで取るとかすると、その方が多分精度が上がるかなという気がします。特に今回この貧困家庭のところはなかなかデリケートな部分にも絡んでくることだと思ったので、そういった点でどこまでそういった家庭の意見が上がってくるかなとちょっと思いました。</p>
事務局	<p>はい、おっしゃる通り貧困などは結構デリケートな問題で、おそらくこのアンケートだけですべてが把握できるというふうに思っておりません。ただヒアリングというのも難しいかなということもあって、具体的にこういう形というのは今出せないのですが、関係者の方たちにヒアリングできるような機会があれば、1回や2回ぐらいお話を伺いできていいのかなというふうに思っております。</p>
委員	<p>よろしくお願ひします。本日はお忙しい中ありがとうございます。日頃は学童の運営に対して市の方にもご協力いただきまして、補助金も上がっております。本当に昔は貧乏だったのですけれども、その点が少しずつ改善されてきて明るい見通しも持てるなか、まだまだ支援員になりたいと思ったださる方が少なく、今保育の現場も介護の現場もそうだと思うのですけれども、人手不足に本当に頭を悩ませております。</p> <p>今回のこのアンケート、私たちの立場からすると、来たぞというのがあります。というのも、先日入所説明会をさせていただきまして、ここにも保護者として参加していただいている親御さんがいる手前ちょっと恥ずかしいのですが、やはり保育料のことでかなりバッシングを受けました。というのは、やはり今園の方が無償化になっておりまして、その流れでやはりその保育に関してお金をねん出するということが、今まで5万の捻出が1万や2万に下がるのであれば、やはり親御さんのやり繰りもまだ大変の中の明るい見通しもあると思うんですけども、安い中からそれが5000円や1万円で行くと、もうその時点で保護者の方は高いと。多分このアンケートを取られたら、土岐小地区のあひる学童保育クラブは高すぎる、と名指しで答えが来るのは覚悟しております。ですから今日私はやめる覚悟を持ってこの場に臨んでいます。やはり皆さんとしては、安くしてほしい、分かります。時間も20時まで、21時まで、仕事</p>

に応じてやってほしい。この24時間表記っていうのは私たちからするととても怖いものもありまして、ただニーズを把握していただく上ではアンケートが重要な意味があるかと思いますが、この数字ですぐ現場にこういったことを対応してほしいと、もしそういう声が上がったら、多分市内の学童クラブ全員支援員はやっていけないかなと思います。本当に立場が変われば意見、思いも変わるので、保護者の立場であればやっぱり預けやすくお金も安くっていう気持ちは重々わかりますし、運営する側からいくとやはり財政を維持していかななくてはいけないので、補助金に本当に助かってはいるのですが。保育料が安くできるような学童は定員の人数も多くて入ってくる保育料も補助金も高いということがあります。実際に利用者が少ない学童に関しましては、補助金の額が逆ピラミッドになればいいのですが普通のピラミッドなので、人数が少ないところに本来だったら補助金がたくさん入ると運営としてはやりやすいんですけども、それが逆というところもあって、本当に人数の少ない学童に関しましては、ほかの学童と比べて高くなる部分もあるので、なかなかそれを私たちが説明会できちんと説明できなかったものですから、保護者の方にも不信感と不安を持たせてしまったのを反省しています。

このアンケートできっと安くしてほしいと出ると思うので、それは覚悟の上です。ただ、現場は日々本当に1人ひとりのお子さんを預かりながら、夏休みに滋賀県でプールの開放時に死亡事故がありました。本当に自分の学童で死亡事故が起こってしまったらもう自分が死んでお詫びしなければならない、そういう気持ちで日々子どもさんを預かっているんで、やはりこの利用の受け入れる側ももう少し丁寧に接しなければいけないのですが、やっぱり違う地区では先着順で決まってしまって困っているとか多分そういう声が市に直接いくので、市の現場の方も板挟みで大変苦労されていると思います。ここにいる皆さんだけでも、学童の現状と、どうしてこの金額を利用者さんから徴収しないといけないのかということ、皆さんだけでも分かって頂けると、私も来年1年間がんばれそうなので、また応援して頂きながら、またアンケートの声も真摯に受け止めて、無下にそれを断るという事ではなくて、その家庭の事情を把握しながら、心を持って対応していきたいと思っておりますので、この場をお借りしてそれをお伝えしたかったです。以上です。

ありがとうございました。

よろしいでしょうか。今のご発言についてすごくよく分かりまして、少ないところだけでなく、多い瑞浪地区でも同じことが言えます。1か月1万円くらいで、それを年間払いしなくてはならず、本校では50名弱いるのですが、その中で学童に預けられる人はいいいのですが、高すぎて預けられないと言われる方もいます。年間払いは無理だし、夏休みを含めたら年間15万円くらいかかり、それだと預けられないということで、そうするとやはり正社員になりたくても小学4年生くらいまではパートでなければやっていけないというような生の声を聞きますと、本当に学童にすら入れられないというようなお子さんもいて、親御さんもすごく苦しんでいます。19時を過ぎるとプラス500円してなんとか預かってくださいとか、ということも聞いていますので、本当に、幼稚園や給食費は無償化になっていくということで大分進んでいて働きやすくなっているのですが、やはり小学生になると、今日もそうなのですが、学級閉鎖で迎

会長
委員

えに来てくださいとか、そういう子たちは学童に行けないということで、やはりパートで勤めて帰ってくるということで時給なので安くなるということで、そんなことが影響していると思います。放課後児童クラブ、学童保育というのは今それぞれ民間経営です。補助金を貰っているけれど民間経営です。他市でいうと市が経営しているところもあります。そこについても今回いい機会ですので、瑞浪市としてどういうふうを考えているのか、市が経営しているところはもう少し負担が少ないと思いますし、支援員の先生たちについてもどうなのかなど、経営などそのあたりのことは良く分からないのですが、そこがもう少し安くなって安心して預けられるようになるといいなと思っていますが、その辺はどうでしょうか。

委員

今回学童を取り上げて頂いて大変ありがたいと思っております。もちろん皆さんの負担が軽減されるべきだと思うのですが、1万円を20日で計算すると1日500円です。その500円も出せないのかと思ってしまう支援員の立場も正直あります。確かにその金額の負担が減れば親御さんも預けやすくなると思うのですが、これだけ補助金を頂いている中で、昔だったらもっと高かったものが今やっとこの水準までできました。年間の保育料の1覧を作っておりまして、確かに毎日休まず、夏休みも冬休みも毎日利用して6時半まで預けるお子さんを対象とした時に、年間15万円ほどかかります。ただし、正規で働いていらっしゃるお母様のお給料が例えばそれ以上あったとしたら、1か月のお給料で1年間お子さんが安心して通えると、逆にそういうことが言えると。

確かにおっしゃるように年払いや一括で払わないといけないとなるとそれは確かに厳しいということもありますが、私どもの学童では月々の利用料に合わせて翌月お預かりしているという形をとっていますので、確かに物入りの4月とか沢山の時や状況に応じてこのお金は5月位でいいよというようなやり取りをしながら、絶対に払えという気持ちはないです。本当に1家庭の負担というのは、片や年収の沢山あるご家庭とそうでないパートでやり繰りしている家庭で負担の度合いというのは違うと思うのですが、以前の保育園の保育料システムの様に年収に応じてその家庭の保育料が決められるシステムであれば、パートで収入の少ない家庭では金額を少なく、沢山の方には多くということができればということ考えたこともあったのですが、今私が勤めている学童に関しましては、安い方は1時間150円、下校後4時までの方は300円というような、その収入に応じてこれくらいは大丈夫かなというように下げているという現状があり、ただこれが全部ではなく、一律日割りが1000円、10日以上利用すればその後何日使っても金額は1万円というような体制だったり、それぞれの学童で保護者会、父母会などと協議をして運営が成り立っているものですから、本当にその1万円が高いと言われてしまうと、本当にでもごめんなさいと言うしかなくて、本当に申し訳ないと親御さんには感じていますが、現場が本当にそれぞれに頑張っています。

もちろん瑞浪小学校区の話もこちらの耳にも入ってきます。夏休みはその瑞浪小学校区のお子さんを違う学童で受け皿をお願いできますかと聞かれるのですが、今ほどの学童も受け皿がいっぱいで、本当に通いたいけど通えないというお子さんの保護者の思いを考えると、何が正解か分からないのですが、逆に休みでもお金が一緒だから行かせてしまうという話を聞くと、分からなくなってきてしまっていて、ただ、お子様の居場所として学童で事故や事件が起きないように日々努力しているということだ

けは、どの学童の共通の思いでもあると思いますので、ちょっと会議の内容からずれてしまっているかもしれませんが、保育料にはそういった意味もあるということをご理解いただけるとありがたいです。

事務局

もちろんわかっています。市の経営にならないかという話、そうすればお給料も市から出るしという話ですね。

委員

今県内の学童を紹介するというアドバイザーもやらせていただいております、市が運営しているところは、1人の支援員の雇用が前提ではなく、子どもたちが例えば2時半から帰ってくるばあいは、そのちょっと前からきてという雇用の範囲なので、人件費として発生する時間が少ないです。それで支援員さんもその時間で働きますということをやっているのです、その分の利用料が安くなっているという部分もあると思います。瑞浪市に関しては1つの仕事として市の方も尊重してございまして、補助金の範囲内でそれぞれやり繰りをしていくというところがありますので、そうするとその方の生活ベース、午前中から具体的に目に見えない仕事をさせて頂いているのでそういったものに人件費がかかっています。市が経営する学童は沢山ありますが、そういった負担を市の方が担っているという部分があって、支援員がお子さんの保育に全力をつくすという、なので2時から6時までなら、その業務だけを発生させているというところがあります。親御さんとしたら形態はどうであれ払う保育料が安い方が負担が減ると思うのですが、その部分はどうかでしょうか。教えてください。

会長

アンケート調査の方からちょっとずれていますけれども、アンケート調査の方にも利用料のことがありますし、自由記述のところがありますので、そういった点でご記入される方もいらっしゃるかもしれませんね。

では、時間も大分経ってききましたので、このアンケートの精査をきちんとして出すようにお願いします。例えば4ページ、5ページを開いてみると、問10が2つあってみたり、7ページでは問14の7番が付問の⑦から⑩を回答と書いてありますが、本当に⑩なのかと見てみますと違っていたりすると、というようなことがあるので、この辺をきちんと精査して市民の方へ出すようにお願いします。

それから、細かいことかもしれないですが、7ページの就労時間とありますが、受け取る側としたら就労時間をどうとるのかということです。就労時間を勤務時間ととるのか、労働時間ととるのか、いろいろ変わってくるので、一体何を問おうとしているのか、ということをはっきりさせるとか、細かいことを言えばそういうことが必要になってくるのかもしれないし、あまり必要でないと思ったらそのままでもいいですが、そのようなことをきちんと精査して頂けるとありがたいなと思います。

続いて、今のところで大分重なったのでいいかなとも思いますが、中学生、高校生のアンケートについてはいかがでしょうか。子ども家庭庁の方では子どもの意見を聞きなさいということをして特に強く言われているので、当事者、子どもに対して直接聞くこととはどういうことかなということは思います。

いかがでしょうか。

委員

すいません。しっかり見ていないので申し訳ないですが、先ほどの貧困家庭についてですが、やはり家計が苦しいので、高校生になったとたんアルバイトをして自分のお小遣いをねん出したり、携帯代を出したり、下の子たちにも何か服を買ってあげ

たりなど、アルバイトの状況はどうか知りたいなと思います。

会長 はい。中学生は学校を介して行うという事は、学校の中でやるということでしょうか。

事務局 そうです。学校を介して中学生はやる予定です。高校生に関しては今の状況が分かりませんので、ハガキで QR コードを読み込みして下さいということで出させていただきます。高校生に関しては先ほどのアルバイトの状況についても載せさせて頂いておりますので、中学生、高校生のところでいうと9ページ、ここでアルバイトの状況についても載せさせて頂いて、高校2年生ということになります。ここで一応確認させて頂くというようになります。

会長 これは、アンケートに協力してくださった方には何かの形で返すことはありますか。
事務局 基本的にはアンケートをしますと HP 上でアンケートはこういう状況でしたということで載せさせて頂くこととなります。後は計画の策定に応じてアンケートの集計等を行いますので、計画の中でも瑞浪市はこんな状況でありますということとはまたお話しする形にはなります。

会長 子どもがアンケートやるということになっていますが、例えば7ページの間12、「あなたは、自分自身のことをどう思いますか」の「1. 頑張れば、むくわれる」と、これはどういう意味ですか？わからない子がいるかもしれませんね。頑張れば報われる、自分自身の事をどう思いますか、で、どういう意味かよくわかりません。

事務局 はい。努力的な事を聞いていて、頑張ればやればいろいろできるんだよ、自己肯定感みたいな感じで設問を設定していますが、聞き方としてどうかということですね。

会長 そうですね。言われたら分かるけど。

事務局 自己肯定感がなくて、頑張ればやればできるんだよと、自分を認めているかどうかを聞きたいという意図なのですが、ちょっと分かりづらくもありませんね。

会長 ちょっと分かりづらいですね。

事務局 その内容が分かるように再度言い方を考えます。

会長 他はどうでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今言ったような意見が出ましたので、また事務局の方で、あるいは業者さんの方で確認をして頂いて、アンケート作成の一助にしてください。

事務局 ありがとうございます。

会長 よろしいでしょうか。では、「その他」に移ります。

会長 「その他」については事務局から説明をお願いします。

事務局 ではまずアンケート以外の意見徴集について先に説明だけさせていただきます。来年の1月に幼稚園、小中学校のPTAの保護者の代表の方を集めましてワークショップを行う予定にしております。子育ての当事者の方たちの意見や、先ほどの学童の関係もございましたが、今の瑞浪市は公立ということは今のところは考えておりません。一律でないということは随分前から実はお話を聞いておまして、何とかならないかなというところはあるのですが、学校によって規模も全く違うものですから、なかなかそこに関しては入れないと。で、土岐市は学童クラブではなく放課後教室という形になっております。多治見市は委託、市がどこかの業者を丸ごとで委託してという形で

す。今その業者もなかなかつかまらない。市が委託業者にお願いしてといってもなかなかそこも難しい、ということがありますので、現状は今の学童クラブの方たちの大変さも重々分かっておりまして、そこに補助をしていくというのが今の市の考え方になっておりますが、そちらに関しても今後、今年学童のない日吉地区で行ったような子どもの居場所、そういうもので対応できるような何かいいものがあればということになるのですが、なかなかすぐにできるものがないです。で、このアンケートを通じてそういうところもご意見として1つ痛いものを突き付けられたとしても何か行動できるものがないか、全国の他のどこかの市で何か行うことができないか、という前向きさを持ってこのアンケートも聞いていきたい。そのアンケートから私どもの方でできること、地域の方に協力していただくこと、そういうものを踏まえて、こういう計画を立てていきたいと思っております。本当に正直な話ですが、このアンケート1つ答えるのにえらい時間がかかるのだらうと思っておりますが、こちらにみえる方で該当する方は必ずアンケートに答えて頂いて、意見をおっしゃって頂けると大変ありがたいと思います。

それから、今回のこの委員の任期に関して1つ説明させていただきます。任期に関してですが、一応これで皆様の任期は終了することになります。来年度4月からまた委嘱をかける形になります。同じ方もみえますし、保護者の方等で変わってくる方もいらっしゃると思います。そちらの方々につきましてはありがとうございましたということと、もしよろしければということで、来年以降につきまして、今12月の広報に子ども子育ての委員さんになりませんかというかたちで出ております。広報などを見て頂いて、計画の策定にも関わってみたいと思われる方かご意見がありましたらこちらの委員の募集にも参加して頂けると大変ありがたいと思っておりますので、ご協力の方もよろしく願います。こちらの方はこれで以上です。

会長

では今の事務局の説明について、何かご質問のある方はお願いします。

これは作文を書いてもらうということですか。

事務局

そうです。作文です。これは市のルールとなっています。

会長

それでは今回が最後になりますが、何か言い足りないことがありましたらお願いします。

よろしいですか。

それでは以上で全ての案件を終了とさせていただきます。

多様な立場から色々な意見を出して頂きましてありがとうございました。この意見をまた事務局の方で色々なところに対応して頂いていいものにして頂けるとありがたいなと思います。本日はありがとうございました。

事務局

会長、ありがとうございました。また、委員の皆様には貴重なご意見、それから切実な思いをお話しいただき、これを私たちの今後の計画策定にも活かしていきたいと思っております。

1つだけ付け加えさせていただきます。来年度の入園申込みがちょうど11月に終了して、今入園の状況が定まってきました。これが計画の数値にも関わってくるのですが、来年年少さんに入る方で応募が多数で抽選になっている園に関しては、桔梗とみ

どりと一色、この3園が入園多数で今後入園の調整をするところになります。未満児、今働く親御さんたちどんどん増えてきております。未満児の方は抽選が4園、0歳児、1歳児、2歳児と分けてありますが、抽選のあった園が、先ほどの3園にプラス稲津ですね。こちらの方が抽選ということで、応募がかなり多数ありました。今後入園調整させていただくこととなりますが、昨年度より公立園の希望が多くなっているということもございますが、そのようなことがあったということだけご承知おきください。

ではこれもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。

お帰りの際は、お忘れ物のないよう気をつけてお帰りください。

本日は、本当に貴重なご意見、誠にありがとうございました。

14：50終了